

さかい輪

かわら版

第12号

坂井輪中学校区まちづくり協議会だより

まちづくり協議会は、地域の皆さんとともに安全で安心して暮らせる社会の実現に努めています。今回のかわら版では、平成27年度の「防犯・交通安全部」の主な活動を紹介いたします。

防犯パトロール・防犯広報活動



防犯パトロールの様子

- ▶ 防犯広報は、皆さんから犯罪被害の意識を高めていただくことを目的にチラシの配布やのぼり旗により呼びかけました。
- ▶ 住宅の鍵かけを呼び掛けるチラシやオレオレ詐欺等の特殊詐欺被害防止のチラシを配布しました。

平成27年12月22日 年末防犯パトロール



- ▶ 防犯パトロールは、ドロボウなどに犯罪の機会を与えないことが最大の目的です。主に商業施設や住宅街のパトロールを実施し、子どもの日や夏休み中には「子どもを守るパトロール」と称して公園、川べり、商業施設などで、子どもの犯罪被害防止と事故防止を図るパトロールを実施しました。

また、寺尾駅と新大前駅の自転車置き場では鍵のかかっていない自転車に鍵かけを呼び掛けるチラシを取り付けました。



防犯広報活動の様子

- ▶ 「年末の防犯・交通安全パトロール」と称して新潟西警察署、西区役所、坂井輪中学校区青少年育成協議会の皆さんと合同で、下校する中学生に対して、交通安全への声掛け、夕暮れ時の通勤・通学路について重点的にパトロールを実施しました。



裏面もご覧ください。

大型トラックを使った事故防止の交通安全教室

▶ 平成27年6月22日に新通小学校で、翌23日には坂井東小学校で、大型トラックを使った事故防止の交通安全教室を実施しました。両校で実施した安全教室の様子を撮影した写真をパネルにして、両校へ寄贈し教材として活用していただくとともに、坂井輪地区公民館の1階にも掲示し、交通安全に対し、継続的な啓発活動を行いました。



段ボールを歩行者や自転車に見立てて、トラックの内輪差による巻き込みや、交差点で信号待ちなどで立ち止まる時は、トラックに接近しないことを学習しました。



子どもたちが実際に運転席に座り、トラックのまわりには死角が多いことを学びました。



子どもたちが、実体験としてトラックの運転席に座り、死角が多いことや、内輪差による巻き込み事故の怖さを学ぶことはとても大切なことです。まち協では、今後も子どもたちに対しての安全啓発活動を続けていきます。



交通ルールは、すべての人が道路を安全にそして円滑にするための最小限度の決まりです。交通ルールを守ることに加えて「思いやり」と「ゆずり合い」の気持ちが大切です。まちづくり協議会ではこれらのことを促すために、のぼり旗やチラシを用いて広報活動を実施しました。



平成27年9月24日に実施した交通安全広報活動の様子